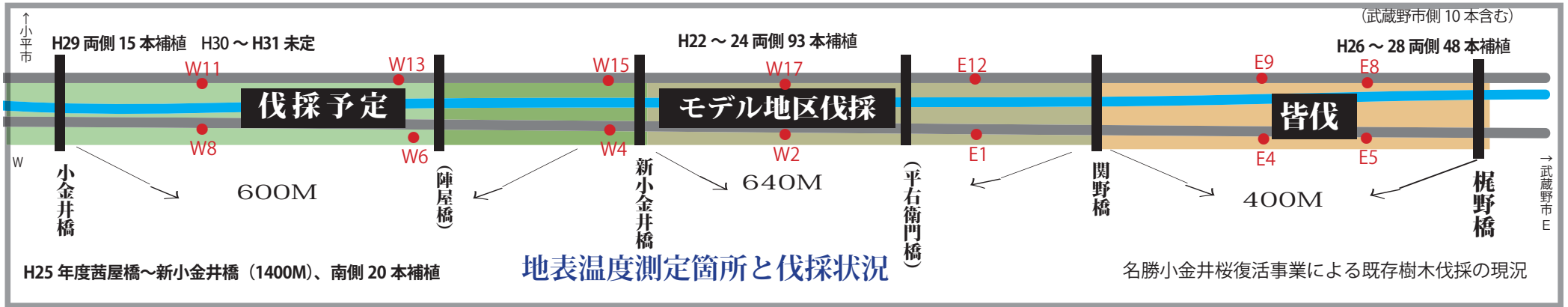


今年も玉川上水遊歩道の温度調査をしました。

樹木伐採の影響を考える



—地表の温度差は最大で33度！—

	伐採予定		モデル地区伐採		皆伐		温度差(最大)	
	W11	W13	W17	E12	E9	E8		
8月17日	23.2	23.2	34.3	50.6	54.1	53.9	E9-W11	30.9
8月26日	27	31	35.9	55.5	60.1	41.8	E9-W11	33.1
8月31日	33.1	33.9	47.2	52.5	59.4	60.8	E8-W8	27.7

*単位 °C 午後1時~2時にかけての測定

今日も35℃を超える猛暑日。歩く人もまばらの状態での測定。樹木のない直射日光の当たる場所では60.8度。暑くてくらから目まいがするほどです。樹木のある暮らしの有り難さを感じました。
 <8月31日測定Nさん>



うという素朴な疑問で、昨年から調査を始めました。今年の猛暑は凄まじく、昨年同様2時前後の測定時間は危険と思われ1時前後として、測定箇所14カ所(昨年は30カ所)に絞りました。表は温度差の大きい3日間をピックアップしました。最大温度差は33.1度。昨年と同じ場所の、桜以外の木が伐採された皆伐箇所北側の五日市街道側です。

桜の天敵が飛来？桜が危ない 3つの危機！

- 1. 倒木?!
- 2. 枯死?!



台風24号で倒れたモデル地区の桜(H24年植樹。北側)



猛暑と水不足で枯れた桜 小金井橋付近南側 H30年8月15日



3. 天敵?!
 外来害虫生物「クビアカツヤカミキリ」樹木の中に入り込み内部を食い荒らして枯死させてしまう。埼玉県(H25年)や東京都(H27年)も確認。見つけたら自治体窓口まで連絡！<環境省HPより>

温度調査、要望書の全文、4/22シンポジウムもHPでご覧になれます。「小金井玉川上水の自然を守る会」で検索してください。